



いわき市医療センター 病院広報誌

回 覧

みや通信

Mini

vol.28
2026.06

いわき市医療センターでは年3回(6月・10月・2月)
病院広報誌を発行しています。

より多くの方にご覧いただけるよう、令和8年度から

ダイジェスト版を作成し、市内全戸に回覧いたします。

ダイジェスト版ではAR機能を活用した

「動く回覧板」を体験することができます。

病院ホームページにある
冊子版もぜひご覧ください。



Vol.28の特集

前立腺がん

前立腺がんとは

冊子版
P2

前立腺に悪性腫瘍ができることを前立腺がんと言い、
泌尿器科領域で最も多く、他の領域も含めた男性のがん
でも最も多い悪性腫瘍と言われています。

近年の医療技術の進歩により、早期発見・早期治療で
がんを治癒することが期待されています。

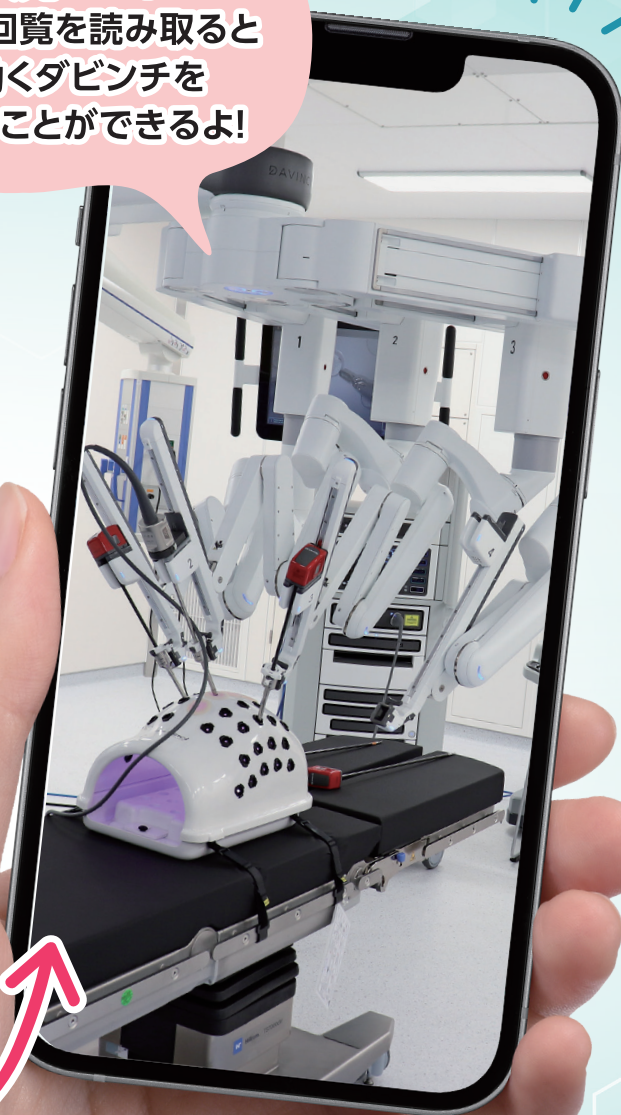
早期発見のために

前立腺がんを早期に発見するために、PSAと呼ばれる
腫瘍マーカー測定が非常に重要です。50歳になったら、
住民健診、職場健診や人間ドックの検査項目に追加する
など、年1回のPSA検査受診をお勧めします。

前立腺がんの治療法の一つである
ロボット支援下手術で使用する
「ダビンチ」について説明します。

冊子版
P3-4

下記の
二次元コードから
この回覧を読み取ると
動くダビンチを
見ることができるよ!



AR機能搭載中!

STYLY WebAR

二次元コードから
動く回覧板を
体験してみよう!



広告掲載募集中!

いわき市医療センターでは、広報誌(冊子版・ダイジェスト版いずれも)に掲載
する広告を募集しています。詳しくは、下記までお問い合わせください。

いわき市医療センター事務局 経営企画課

TEL:0246-26-2134

がんゲノム医療とは？

がんに対する治療は年々進歩し死亡率も低下した一方で、治療が難しい患者さんもいらっしゃいます。

標準治療※¹を行っても、がんが治らない患者さんに対し、がん細胞のゲノム※²を解析し、治療に結びつく情報が得られないか確認するのが、「がん遺伝子パネル検査(がんゲノムプロファイリング検査)」です。

検査でがん細胞のゲノムを解析し、異常(変異)に最も適した治療薬や治療方針を選択することをがんゲノム医療といいます。

がんの遺伝子検査は、従来から当センターでも行っていますが、すでに保険承認された抗がん剤(分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬)を選ぶための検査で、「コンパニオン診断」といいます。

これに対し、がんゲノム医療で行う「がん遺伝子パネル検査」は、標準治療後に、数百種類のがんに関連した遺伝子を調べる検査です。

※¹ 標準治療: ガイドラインで推奨されるがん薬物療法
※² ゲノム: DNAの文字列に表されたすべての遺伝情報

令和7年10月、
いわき市医療センターは
がんゲノム医療連携病院に
認定されました。

がんゲノムって何？

がんの標準治療を行っても治らない患者さんに対する「がんゲノム医療」。

今回は、当センターでがんゲノム医療を担当する
峯村先生にお話を伺いました。



アール エス

RSウイルス感染症

のはなし

冊子版
P7-8

どこから感染するの？

日頃の予防策は？

予防接種はある？

夏が流行のピーク！

RSウイルス感染症は、急性の呼吸器感染症です。

特に乳幼児期に発症することが多い感染症ですが、高齢者も含めてあらゆる年齢層で発症や再感染をする可能性があります。

また、従来は冬の期間に流行して

いましたが、コロナ流行前後から、8～9月に流行のピークが来るという傾向に変わってきています。

令和8年度からは妊婦さんが無償でワクチン接種を受けられる体制が整備され、流行時期や年齢の傾向が変わる可能性も考えられます。

みまや通信本編
(冊子版)はこちら



外来担当医一覧
(令和8年6月～)



いわき市医療センター
公式SNS



Facebook



Instagram